

校内研修を通した教師の学びの充実

1 特集について

令和4年12月、中央教育審議会は「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について（答申）」の中で、教師には教職生涯を通じて探究心を持ちつつ主体的に学び続けること、一人一人の教師の個性に即した個別最適な学びを提供すること、校内研修等の教師同士の学び合いなどを通じた協働的な学びの機会を確保することが重要であると示されました。現在、中央教育審議会では、次期学習指導要領の内容だけでなく、多様な専門性を有する高い教職員集団の形成を加速するための方策についても議論されており、これまで以上に研修の充実が求められています。

本特集では、校内研修を通した教師の学びの充実の向けた、研修のデザイン及びその工夫例を紹介します。

2 紙面の活用について

本特集は[こちら](#)から

PDCAサイクルを基に、**校内研修のデザイン例**を紹介しています。

PDCAサイクルを踏まえた、**研修運営の工夫例**を紹介しています。



令和の日本型教育を担う教師の学びが、子供たちの学びの相似形であることを示すとともに、具体的な教師の学びの姿の例を紹介しています。

御意見
ください

所報「たまじむ」において、多摩地区の学校及び市町村教育委員会のニーズに応える特集を予定しております。つきましては、特集内容に関する御意見をいただきたく、御協力をお願いいたします。

↓アンケートフォーム↓



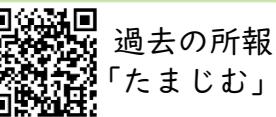
こちらから該当のアンケートフォームへ直接アクセスすることが可能です



本特集及び過去の
所報解説動画

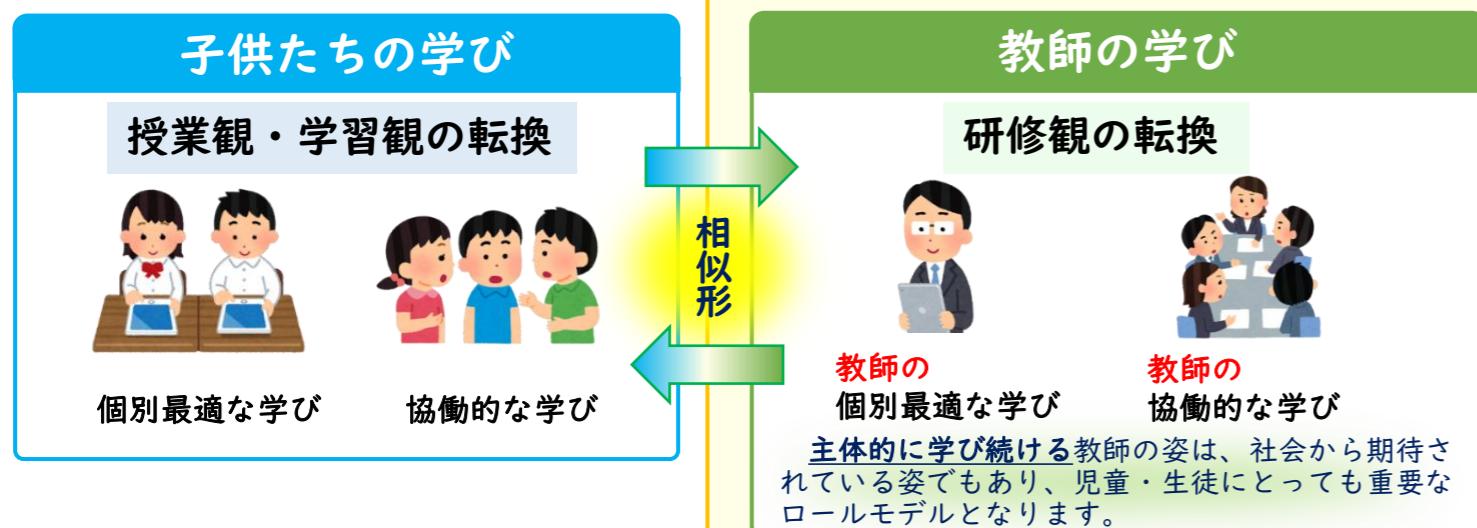
校内研修を通した教師の学びの充実

Part. I
研修担当者編

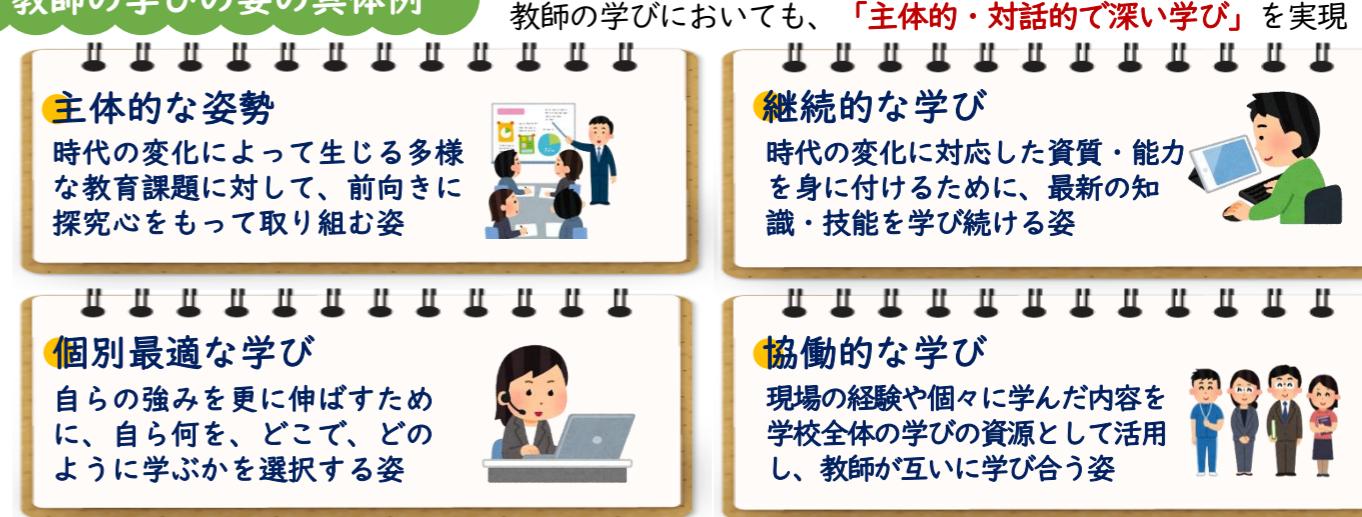


教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部改正により、教職生涯を通じて探究心をもちつつ主体的に学び続けること、教師の個性に即した個別最適な学びの提供、教師同士の協働的な学びの機会の確保の重要性が示されました。そこで、本特集では、教師の学びの充実に向けた校内研修の具体的な取組について紹介します。

令和の日本型教育を担う教師の学びとは



教師の学びの姿の具体例



校内研修を通じて具現化

校内研修のデザイン例

各校の実態に合わせて 参加者(学び手)を主語

にした発想で研修を構想しましょう

※Part.2では多摩地区の学校の工夫例を紹介する予定です。

PLAN 校内の課題やニーズを基にした研修計画の立案

- ・学校経営方針の確認
- ・事前アンケート等の実施

DO 研修の実施とマネジメント

- ・研修の形態を検討
- ・時間設定等の調整

CHECK 成果と課題の検証と新たな学びへの接続

- ・研修後アンケートの実施
- ・チェックリスト等を活用した自己分析の実施

ACTION 次回の研修に向けて

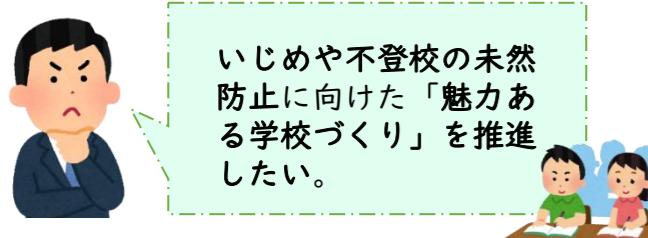
- ・反省を踏まえた改善案の提案

PDCAサイクルを踏まえた
研修運営の工夫例

豊かな「気付き」を醸成する研修を通して教師の学びを充実

講 講義形式 ワークショップ形式 体 体験形式 デ デジタル活用形式

学校の課題に即した研修



講 都教委訪問等を活用し、テーマに関して理解を深める。

ワ 「きずなづくり」「居場所づくり」についてアイデアを出し合い、校内で実践する。

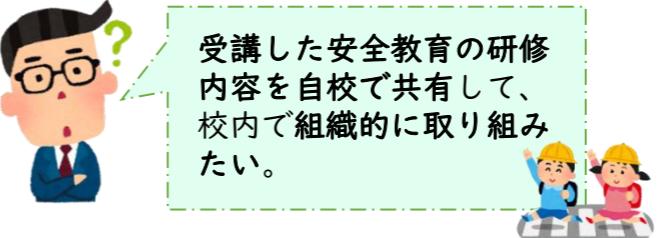
ニーズに即した研修



体 デジタル教科書や学習支援アプリの機能を教師が体験する。

講 先進的な取組を行っている自治体や学校に講師を依頼し、理解を深める。

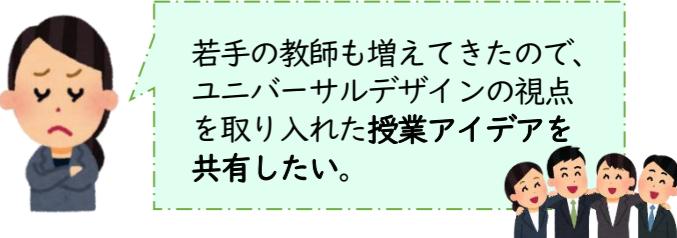
自身の学びを広げる研修



デ 研修動画等の資料を端末上で共有し、全教員が問題意識に合わせて視聴する。

ワ 担当者が、学校の実態に合わせた内容をワークショップ形式で講習する。

それぞれの専門性を生かした研修



ワ 全教員が輪番等で講師となり、短時間の研修を実施する。

デ 研修の様子を録画し、いつでも視聴できるようにする。